



せせらぎ三島

ロータリークラブ

Seseragi-Mishima Rotary Club

SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. パートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1188回 例会

2014.6.27(金)曇

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君
ロータリーソング「それこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君



本日6月27日が今年度最終例会です、今日を迎えますとこの一年が長いようで、また短かく、楽しくもありました。

パスト会長、幹事からは年度のスタート前が大変が始まるとそのまま流れていくので準備段階が大変と言われていました、確かに振り返ってみますとその通りではありません。しかし今年度は5年ごとの周年事業が予定され、メンバーのなかには25周年という欧米では記念すべきクオターなので盛大にとの意見がわずかにありましたが、ごくごく少数の意見でしたのでお聞きするだけとしました。

幸いなことに会長としての役目は加藤幹事、理事、役員のご協力により計画通りに進めることができました。親睦委員会の夏の家族会は、海の生け簀でのさかな釣り、春は蕎麦打ちと普段経験することができない楽しい時間を創っていただきました。

クラブの継続事業でもあります「青少年育成事業」、タイ放置自転車贈呈、3年後の自分への手紙、大槌町への図書支援の3つの事業につきましても順調に実施をすることができましたが、この3つの事業もクラブ財政のこともあり見直しも必要ではないかと思えます。

今年度の大きな事業はやはり25周年記念事業です、テーマを「こころの絆を深めよう」、いいテーマであります。3.11以降、絆を強く、絆を大切に、の言葉が多く聞かれ、被災された大槌町の佐々木課長に講演依頼したところ、ご快諾をいただき、まさに「こころの絆」であります。25周年実行委員会のメンバーは優秀な委員長ばかりでしたので、おまかせて良かったのですが、たまに心配することもありましたが数日後には解決をしているという優秀な実行委員会でありました。今年度のクラブテーマ「初心にもどり自分

とクラブを見つめ直そう」を掲げさせていただき、初心にもどり「出席が基本」であるクラブの出席率を高めることが出来ました。また25周年を迎えることにより、再度自分とクラブを見つめ直し、記念すべき事業を「全員参加」で開催することができ、皆さんの団結力、クラブの力をより高め、強固とすることが出来ました。

皆様のご協力をいただき会長を務めることが出来ました、ありがとうございました。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	34/34	100%	34/34	100%
今回	32/34	94.12%	会員総数	34名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

太田君、大房君



御礼(一年を振り返って)

静岡第二分区アシスタント・ガバナー
伊藤雅之君

この一年間、山本会長、加藤幹事はじめ皆様にご協力を頂き、ありがとうございました。何度か訪問させていただいた中で、貴クラブが留学生の派遣をはじめ数々の青少年に対する奉仕活動、タイへの放置自転車の贈呈、被災地大槌町への図書の寄贈等々の活動を知ることが出来ました。また、これらの奉仕活動が全て中期計画に基づいて行われていることに大変、感銘を受けました。せせらぎ三島ロータリークラブ殿は、静岡第二分区ばかりでなく、RI2620地区においても、最も優れたクラブの一つであると断言できます。これからも、素晴らしい活動を期待しております。

「ロータリーってなに？」と聞かれたことはありませんか？「ロータリーの理念とは？」「職業奉仕とは？」「超我の奉仕とは？」是非一度、考えてみてください。私はそれぞれの違った考えがあってもいいのではと、思っています。

ニーチェの言葉を集めた『超約、ニーチェを読む』という本があります。直訳でもなく、意識でもない、超約です。訳者の考えが反映されているため、原約からは少し離れているかもしれません。

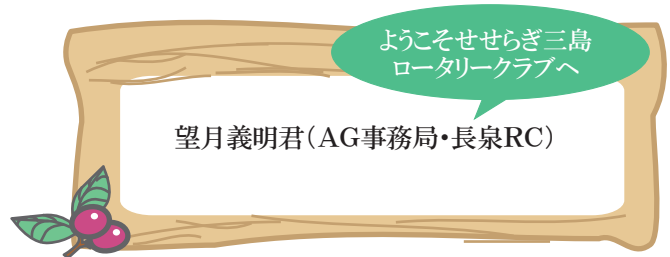
{生き方について}こんな言葉があります。

「原約」 願わくは『…の為に』を忘れよ、そなたたちが何事をも、『…の為に』とか『…の動機で』とか『…の理由で』とかいった条件付でなさないことこそ、まさしくそなたたち

の徳の欲するところだ。「超約」ではこれが、どれほど良いことに見えても、『…のために』行うことは、卑しいことだ。誰々のためであろうとも、なにになにの為であろうとも、それが失敗したときに、相手世事情かなにかのせいにする心がうまれる。うまくいったときには、自分の手柄だとする慢心が生まれるからだ。つまり、本当は自分のためにだけ行っているのだ。けれど純粋に能動的な愛から行われるときには『…のため』という考えもでてくることはない。

こう読んでみるとニーチェの言葉は、ロータリーの精神に近いのではと思えてきます。なかなか理解できない『超我の奉仕』とはこういうことではないかと思ったりするのは、不思議な気持ちです

貴クラブの益々のご発展を心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



スマイルボックス

ミセス・アモーレ:せせらぎ三島ロータリークラブの奉仕活動に参加出来ました事を感謝申し上げます。メンバーが出し合って積み立てて参りました活動費の残金をスマイルします。

山本良一君:一年間皆様のご協力をいただき会長を務めることが出来ました。ありがとうございました。次週からの矢岸年度もよろしく。

加藤正幸君:1年間お世話になりました。幹事職、とても良い経験をさせてもらいました。ロータリーの事が今までより少し理解できる様になりました。皆様の協力に感謝します。

渡邊照芳君:山本会長、加藤幹事1年間ご苦勞様でした。来期からゆっくりして下さい。

宮澤正昭君:山本会長、加藤幹事1年間ご苦勞様でした。各委員会の委員長ご苦勞様でした。

中村 徹君:山本会長、加藤幹事、一年間お疲れ様でした。山本会長はこの一年、ロータリー情報をはじめ、業界の専門的なお話を交えて、お人柄がにじむような気配りに終始した、会長挨拶でした。

次年度からは、この会長経験を活かして、パスト会長、クラブ懇話会のメンバーの一人として、クラブをご指導くださるよう、よろしく願いいたします。

25周年記念式典はクラブ全員がそれぞれ十分に役割を果たし、素晴らしい式典になりました。大房実行委員長、鈴木、小林副実行委員長さん一年間、お疲れ様でした。また若い会員の皆さんには、式典を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

山口辰哉君:山本会長、加藤幹事、一年間お疲れ様でした。5年後ぐらいに、今回経験したことをもとにもう一度やられてはいかがでしょうか？再登場を願っています。

矢岸貞夫君:山本会長、加藤幹事、理事役員の方、ご苦勞様でした。来期小林幹事はじめ理事役員の方々がんばってまいりますので宜しくお願いいたします。

中山和雄君:山本年度会長ほか、役員の方々1年間お疲れ様でした。石井出席委員長ガンバリましたね！お疲れ様でした。

石井和郎君:山本会長、加藤幹事1年間ご苦勞様でした。

岡 良森君:山本会長、加藤幹事1年間お疲れ様でした。私は今秋のみすぎでお疲れ様です。

澤田 稔君:あまり出席も協力も出来ず申し訳ありません。外では元気でやっております。

片野誠一君:山本会長、加藤幹事、本年度は大変御苦勞様でした。又、次年度の矢岸会長、小林幹事さん宜しくお願い致します。

石井司人君:会長・幹事・役員の皆様、一年間ご苦勞様でした。

杉山 隆君:一年間親睦委員長させていただきました。委員会の皆様、たよりに委員長ですみませんでした。もっとも勉強しなきゃですね。頑張ります。

仲原実圭君:山本会長、加藤幹事1年間大変御疲れ様でした。次年度矢岸会長、小林幹事、困った時は御相談いただければ幸いです。男仲原、次年度もがんばります！

服部光弥君:山本会長、加藤幹事1年間大変お疲れ様でした。今年度を振り返るとホームクラブ100%出席できず修正出席100%できました。杉山順一君、スマイルは同点！出席率は私の勝ちです。次年度も宜しくお願い致します。

土屋 巧君:山本会長、加藤幹事、おつかれ様でした。その他の皆様もおつかれ様でした。来週からもよろしく願いいたします。